

表 - 2.5 注目種（上位性）選定のための整理

種名		食性 (魚類: 生活型)	事業区域 への依存性	調査の 難易度	知見の 有無	備考	選定され る 注目種
鳥類	ヒ	肉食	×	-	-	-	-
	ミカ	魚食		(採餌は主 に水面)		生息量が多く、確認され易く、 調査が容易である。	
	カツリ	魚食		×	(採餌は主 に水中)	-	-
	イキ	魚食		×	(夜行性)	-	-
	イキ	魚食			(採餌は主 に河岸)		生息量が多く、確認され易く、 調査が容易である。
	コキ	魚食			(採餌は主 に河岸)		生息量が多く、確認され易く、 調査が容易である。
	アキ	魚食			(採餌は主 に河岸)		生息量が多く、確認され易く、 調査が容易である。
哺乳類	イネ類	肉食		×	(夜行性)	-	-
爬虫類	カメ	肉食		×	(採餌は主 に水中)	-	-
	スッソ	肉食	×	-	-	-	-
魚類	マス	純淡水魚		×	-	-	-
	スギ	汽水・ 海水魚	(幼魚)			利用は主として幼稚魚であるた め選定しない。海水魚であり、 海域の影響を強くうける。	×
	ヒラメ	汽水・ 海水魚	(幼魚)			利用は主として幼稚魚であるた め選定しない。海水魚であり、 海域の影響を強くうける。	×

注) 1. 食物連鎖の上位の種について、事業実施区域及びその周辺環境への依存性の高い種、調査難易度の低い種、知見の有無の順に上位種を選定した。

2. 鳥類は一年中事業実施の直接的影響を受ける可能性のある留鳥、魚類は在来種を対象とした。